

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.6  
令和5年6月20日  
文責：校長 松野克己

## 唐津市教育の日



6月11日(日)の唐津市教育の日にはたくさんのご家族や地域の方に来ていただきました。後から人数を確認すると418名ということで、完全にコロナ前に戻った感があります。各学級2時間の授業参観を行いました。参加者の多さに圧倒されている子もいましたし、いつも以上に張り切っていた子もいたようです。保護者の皆様には、来ていただいたことだけでなく、今回も私語や写真撮影などのルール、マナーを守っていただいたことにも感謝申し上げます。

参観の後には保護者引き渡し訓練を行いました。今回は少しでも実際に近い状況を想定し、体育館集合ではなく、長子の学級に迎えに来ていただきました。実際の場というのは放射能漏れや児童だけでは帰せないような大雨の状況が想定されます。お迎えの時間差も大きくなりますし、混乱も生じます。そういうことで、今回は唐房・浦・鳩川・枝去木方面限定で行いました。全体的にはスムーズな引き渡しことができましたが、反省として連絡の不徹底があげられます。授業参観後、保護者の方には、一旦校舎外に出てもらい、メール受信を受けて迎えに来ていただくというところが不十分でした。実際の引き渡しと同じ状況は作り出せませんが、少しでも現実に近い訓練にするため、来年度はこの点を確実にやりたいと思います。

## 修学旅行・バス旅行

梅雨の真っ只中でしたが、6月15日には1～4年生のバス旅行、16日にかけての1泊2日で6年生のバス旅行を行いました。その様子を簡単にお知らせします。

### 六年生

この時期は毎年、雨にならないかを心配しているのですが、運良く今年も降りませんでした。長崎市に着くとすぐに被爆体験者の三田村静子さんの講話を聞きました。放射能の含まれた灰のかかったご飯を食べたため、後年ガンに冒されご兄弟やご自分の娘さんを亡くされたということで、目に見えない放射能の恐ろしさを感じさせられました。また、ご自身がハワイの真珠湾に行かれた経験から「日本は被害者でもあるけれど、加害者でもある」というお話をされたことが印象に残りました。

円卓を囲んでの中華料理を堪能した後、原爆資料館、原爆落下中心地に全員で行き、そこから周辺の前爆に関わる史跡を班別で見学し、平和公園に集合。バスで新地中華街近くのホテルに宿泊しました。夕食はおいしく、部屋は広く、快適に過ごせました。子ども達もおおむねルールを守って過ごしていました。

2日目は長崎歴史文化博物館に行き、そこからはずっと班別行動でした。この日は真夏のような暑さで、私は眼鏡橋のチェックポイントで子ども達を待っていましたが、日差しをよける場所がなく参りました。意外だったのは、この時期であっても修学旅行の小学生



がかなりいたことです。旅行代理店の方に聞くと、今年の秋は、小中高の修学旅行が完全復活し、かつてないほど混んでいるとのこと。そのため、この時期に変更した学校があったり、長崎市内のホテルがとれず、小浜や諫早に宿泊せざるを得なかった学校もあったりするとのことでした。私はその後、次のチェックポイントであるグラバー園に行きました。いつもはのんびりと歩いていくのですが、今回は暑さに負けて路面



電車に頼りました。その途中、電停で外国の方に電車の行き先や乗り方を聞かれ「なんで自分に・・・」と思いつつも必死に身振り手振りで答えたことが、私にとってもしかしたらこの修学旅行で最も記憶に残る時間となるのかもしれませんが。おみやげや自分の買いたい品を買って満足した子ども達、帰りのバスの中では全く会話が聞かれず、眠りに落ちていました。暑さはたいへんでしたが、充実した修学旅行になったと思います。



## 四年生

4年生のバス旅行では、①無窮洞(防空壕)②海きらら③森きららの三か所へ行ってきました。去年とは違う場所へのバス旅行、子ども達はわくわくした気持ちでいっぱいでした。

まず①無窮洞(防空壕)では、平和について学習しました。第二次世界大戦時、小学校の防空壕として掘られた無窮洞。掘ったのは、大人ではなく、当時の中学生でした。男子がツルハシなどで掘り、女子が整形、運び出しを行いました。とても中学生が掘ったとは思えない防空壕で、子ども達は「戦争が起きないような世界にしたい。」「防空壕なんてものが生まれない方が絶対がいい。」などと声を上げていました。

次に②海きららでは、普段見ることのない魚や生き物たちをたくさん見ることができました。イルカが間近で悠々と泳ぐ姿に思わず「おお～！」と声が漏れ、きらきらとした魚たちの綺麗さに目を光らせるなど、とても楽しそうな様子でした。館内が涼しかったこともあり、見学しやすく、絵や説明を丁寧にメモしており、「まだたくさん見たい！」と時間が足りないようでした。



最後に③森きららでは、多くの植物や動物に触れたり、見たりすることができました。キリンの大きさに圧倒され、ペンギンやミーアキャットの可愛さに癒され、植物の綺麗さや儚さに息をのむ子ども達。グループの中で、「つぎはあっちに行こう!」「あの動物がみたい!」など話し合いながら、時間いっぱい楽しむことができました。また、森きららでは、お弁当を食べる時間があり、お家の人に作ってもらったお弁当をとてもおいしそうに頬張っていました。「このおかずが一番好き!」「好きなものしか入っていない!」など、笑顔でお弁当の中身を見せてくれる様子が、とても印象的でした。



今回のバス旅行では、学校では見ることができないような表情をたくさん見ることができました。佐志小学校に帰ってきてからも、カステラのお土産があり、大満足のバス旅行でした。

(4-1担任 本田英志)

